

1. 事業概要

事業名	公益(建設副産物再利用促進事業)				
目的及び内容	公共事業で発生する建設発生土の安定的な受け皿及び盛土材料等の供給体制を整備し、建設副産物の再利用の向上を図るため、ストックヤードを兼ねた建設発生土処理場を管理運営する。				
目標(値)	建設発生土リサイクルヤードの適切な運営(搬入土量 ^{m³})				
		21年度	22年度	23年度	24年度
	目標値	70,000 ^{m³}	100,000 ^{m³}	50,000 ^{m³}	46,000 ^{m³}
	実績値	170,998 ^{m³}	145,867 ^{m³}	82,757 ^{m³}	

2. コスト等の推移

(単位:円)

区分	21年度	22年度	23年度	24年度(計画)	
コスト	275,088,461	123,974,359	87,405,544	59,012,000	
事業費	266,636,336	114,793,356	81,321,778	52,516,000	
財源内訳	補助金・負担金				
	うち県分				
	受託料等				
	うち県分				
	(上記のうち指定管理料)				
	県が造成補助した運用財産の取崩収入				
	資産運用収入				
	使用料・入場料等	154,614,270	114,723,774	81,305,514	52,500,000
	借入金	111,962,057			
	その他(上記以外)	60,009	69,582	16,264	16,000
人件費	8,452,125	9,181,003	6,083,766	6,496,000	
職員別内訳	役員	754,557	744,250	344,752	345,000
	正規職員	7,161,926	7,890,916	5,187,612	5,600,000
	嘱託職員				
	臨時職員等	535,642	545,837	551,402	551,000

3. 事業実績に対する評価等

指標に基づく評価	a	(評価の目安) a: 目標を達成するとともに非常に効果があった b: かなり効果があった c: 効果が十分でなく手法を見直す必要がある d: 効果が出ておらず、事業そのものを見直す必要がある
説明	<p>搬入の実績は、82,757^{m³}(対前年度63,113^{m³})となった。県事業では、国道431号改築工事の川津バイパス及び第5大橋道路建設事業からの搬入が多かった。松江市からは、上下水道事業等から多くの搬入があったほか、農林事業、ガス事業からも搬入された。</p> <p>一方で、搬出の実績は2,308^{m³}(前年度は実績なし)となった。</p>	